

2021年度 ミクロ経済学初級II 第1回演習

Takako Fujiwara-Greve

- 答案を提出すれば、期末試験の点がCとDの境目のときだけ出席点として使用しますが、白紙同然のものは提出したとはみなしません。まじめにやりましょう。
- Canvasには剽窃チェックツールが入っているので注意しましょう。turnitinにはコメントをつける欄がありますが、読まないで、「よろしく願います」とか無用です。大学のサーバーの負荷を減らしましょう。

1. 2人2財の純粋交換経済を考える。消費者はAさんとBさんとする。Aさんの初期保有ベクトルは $\omega^A = (10, 0)$ 、Bさんの初期保有ベクトルは $\omega^B = (0, 20)$ であるとする。 $i = A, B$ さんが第1財を x_1^i 単位、第2財を x_2^i 単位消費したときの効用をそれぞれ、

$$u_A(x_1^A, x_2^A) = x_1^A \cdot x_2^A$$

$$u_B(x_1^B, x_2^B, x_1^A) = x_1^B \cdot x_2^B \cdot \left(1 - \frac{x_1^A}{10}\right)$$

とする。つまりAさんの第1財の消費量はBさんに対して外部性がある。

- (a) 価格ベクトルを $\mathbf{p} = (1, p)$ とし（つまり第1財はニューメレール）、競争均衡を求め、そのときの2人の効用水準も求めなさい。
- (b) 競争配分が効率的でないことを示すため、(a)で求めた効用水準より二人とも厳密に効用が高まり、実現可能である配分を一つ求めなさい。